

平成23(2011)年

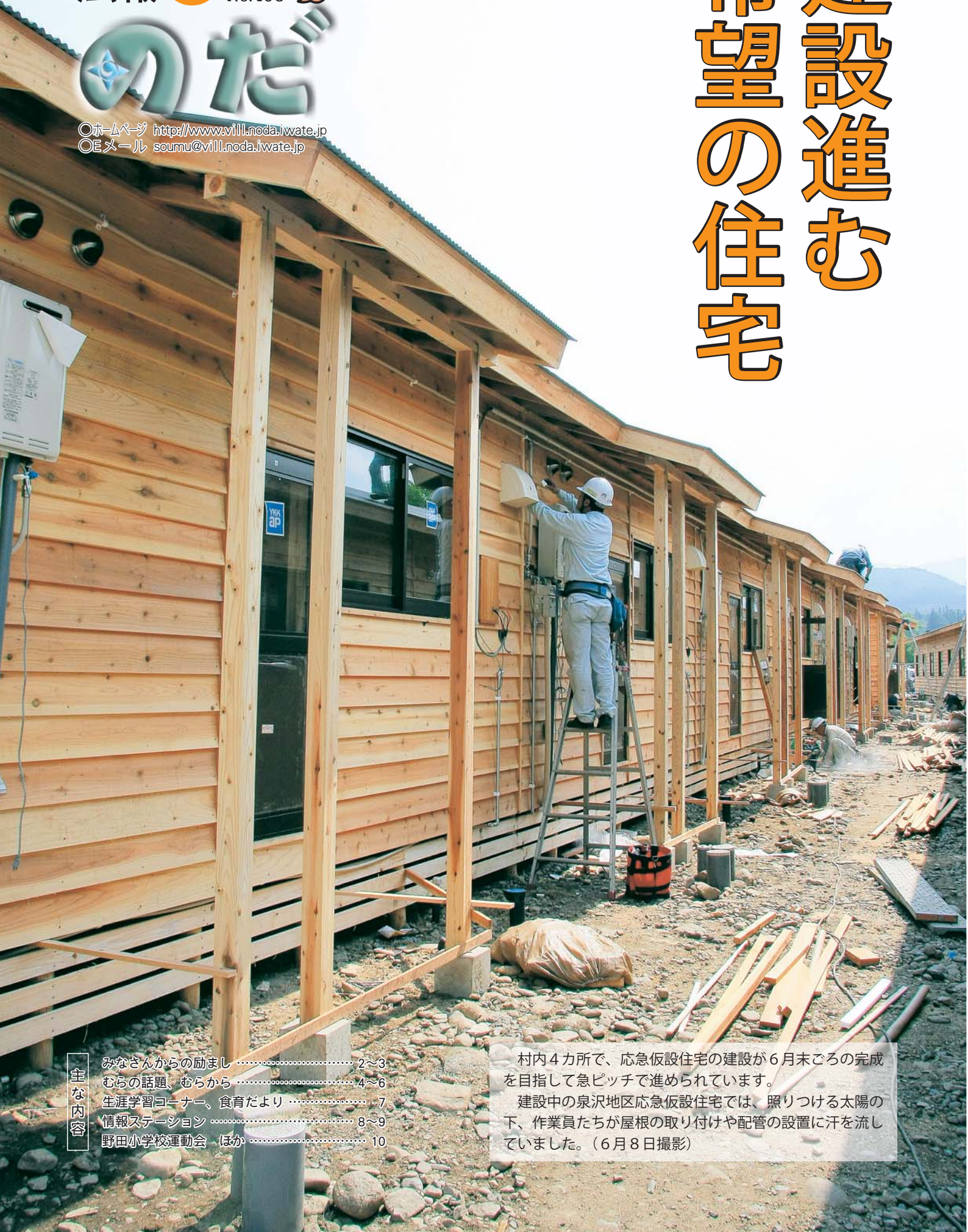
広報 **6** 月号  
No.458



のた

◎ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp>  
◎Eメール [soumu@vill.noda.iwate.jp](mailto:soumu@vill.noda.iwate.jp)

# 建設進む 希望の住宅



主な内容

みなさんからの励まし .....	2~3
むらの話題、むらから .....	4~6
生涯学習コーナー、食育だより .....	7
情報ステーション .....	8~9
野田小学校運動会 ほか .....	10

村内4カ所で、応急仮設住宅の建設が6月末ごろの完成を目指して急ピッチで進められています。

建設中の泉沢地区応急仮設住宅では、照りつける太陽の下、作業員たちが屋根の取り付けや配管の設置に汗を流していました。(6月8日撮影)





夏には大きな花が咲きますように！

**ヒマワリは元気の証し**  
**ヒマワリの種まきイベント**

5日に、野田中学校校応急仮設住宅で、ヒマワリの種植えや、足湯、シャボン玉遊びなどで仮設住宅に住む人たちに元気づけようと、NPO法人日本災害ボランティアネットワークや関西学院大学の学生有志らがイベントを開催しました。

仮設住宅に住む人たちはボランティアらと協力してプランターにヒマワリの種を植えて、水やりをしました。

今回使われたヒマワリの種は、平成21年8月に豪雨被害を受けた兵庫県佐用町で「元気の証し」として栽培されているヒマワリから採ったもので、村でも大きな花を咲かせて、元気を振りまくよう願いが込められています。

**足湯とハンドマッサージでリフレッシュ**  
**復興支援プチイベント**

八戸工業高等学校のボランティアらによる復興支援プチイベントは5月29日に横町地区などで行われました。

食器や夏物の衣料などのお楽しみフリーマーケット、おしるこのふるまいが行われました。

また、総合センターでは足湯とハンドマッサージが行われ、来場者は震災以来の、体にたまったこりをほぐしました。



優しいマッサージに心も体もほぐされました



孫の成人式の写真を眺める北田さん

**きれいな写真をいつまでも**  
**写真修復イベント**

東北地区の写真館の団体東北PGCによる被災写真を修復するイベントが、1日に横町地区で行われました。

大津波により泥や海水で汚れた写真を新しい写真への複写や洗浄をするもので、各世帯につき1枚を無料で複写・修復しました。

自宅が流出し、避難所で生活をしている北田之子さん(76、門前小路)は、「津波でたくさん写真が真が流されたり汚れてしまったが、孫の成人式の写真をきれいにできて良かったです」と大切な写真を眺めていました。



一球一球に気迫が入ったプレーをする久慈工高と宮古工高

**被災地同士奮闘誓う**  
**久慈工高が大槌高校・宮古工高と練習試合**

久慈工高(遠藤敏夫校長、生徒211人)の野球部は4日、大槌高校と宮古工業高校の野球部をラッピングスタジアムに招き、練習試合を開催しました。

震災により練習が思うようになかった学校同士の練習試合に父母や村民が応援に訪れ、選手的好プレーに歓声が上がりました。

久慈工高野球部の三上雄輔主将は「自分たちのプレーで、被災した人たちに元気になってもらえるように頑張りたいです」と試合に向けて意気込みを話しました。



被災した住民を励まそうと、村内外の人からいただいた「笑顔の支援」を紹介します

# 多くの人からの励ましに たくさんの笑顔と希望をもらいました

**今日から80新しい野田村**  
**元気な野田村出発式**

元気な野田村出発式は、震災から80日がたつ5月29日に、新たな野田村が80歳を祝う、のんちゃん広場周辺で開催されました。

役場前では、震災以降倒れたままになっていた「野田村役場」の石碑の復旧が行われたほか、281バンドによる演奏とモウモウブ

また、被災者から野田村を支援して下さった人へのお礼として、中華の鉄人曾明星さんらによる中華丼や、まめぶ汁、短角牛まん、うどん、草もち、ドーナツ、わたあめなどの炊き出しが行われました。

ラザーズによる歌&トークショーが行われました。

新たな野田村が80歳を祝った風船飛ばし



葛巻町から来たモウモウブラザーズの歌とトークで会場は盛り上がりました



野田小学校で紙芝居を演じる瀬戸内さん(左)と前田千晶さん(右)

**希望を見失わないで**  
**瀬戸内寂聴さん来村**

二戸市にある天台寺の名誉住職、瀬戸内寂聴さんが2日に村を訪れ、野田小学校で紙芝居を、えぼし荘では法話を行いました。

村内の一般住民を対象としたえぼし荘の法話では、「もし今がどん底にいると思うなら、あとは上にあがるだけです。今生きている意味を考え、自分が周りにできることを考えてみて下さい」と、前向きな生き方と考え方を参加者に伝えました。



瀬戸内さんの法話には村内外からたくさんの方が訪れました



## 第1回田んぼ作業体験事業 おいしいお米になあれ

5月25日に野田小学校(高橋啓司校長、児童198人)の4年生36人は、同校近くの水田で田植えを体験しました。

田んぼを提供してくれた土橋シヅエさん(中平・78)や、農業指導者の廣内和之さん(下泉沢・58)らから田植えの手ほどきをうけた児童らは、素足でおそろおそろ田んぼに足を踏み入れながら田植えをしました。

初めて田植えをした澤里和也くん(中平)は「最初は泥が気持ち悪かったけど、慣れたら平気だった。田植えの大変さと食べ物大切さが分かりました」と感想を話しました。



ぬかるみに足を取られて大変だったけど、秋の実りが楽しみ!

## 津波被害の水田で田植え行われる 被害水田復旧のさきがけに

5月27日に本村では初となる、津波被害を受けた水田への田植えが行われました。

田植えが行われたのは、米田地区の外館耕太郎さん(71)の水田です。

同水田では、久慈農業改良普及センターの指導を受けて、水田を真水で満たして、地面に浸透させる方法を3回繰り返し、十分に塩分濃度が下がったことを確認してから、田植えを行いました。

外館さんは「いい天気で安心したが、海水の影響が心配。他の人の参考になれるよう見守りたい」と稲の生育に期待しました。



ボランティアの力を借りてきれいになった水田に田植えをする外館さん

## 閣僚らが相次ぎ来村 本村の実情を訴える

大津波のあった本村を視察に、政府の閣僚が相次いで本村を訪れました。

5月22日には枝野幸男内閣官房長官が米田公民館を訪れて、避難者と意見交換をしました。

住宅の高台移転や生活支援に関する問い合わせや、地域がばらばらになってしまうのではないかと不安の声に枝野長官は「今回の震災で地域のつながりが大きな財産だと気がつきました。地域のつながりがこれからも活発にできるような復興を目指していきたい」と応えました。

同月23日には辻元清美内閣総理大臣補佐官(災害ボランティア活動担当)が来村し、村のボランティアセンターなどの視察を行いました。



米田公民館で避難者と意見交換をする枝野官房長官

## 櫻庭二ノへさん白寿祝い ひ孫たちに囲まれ笑顔の白寿

中新山の櫻庭二ノへさんは、5月5日に99歳の誕生日を迎え、5月22日に小田村長から白寿祝の記念品として座布団を手渡されました。

櫻庭さんは明治45年生まれで、子6人、孫16人、ひ孫26人、玄孫3人の子宝に恵まれています。毎日、三食のごはんをきれいに食べ、元気におしゃべりをしたり、ひ孫や玄孫たちと遊ぶことを楽しみにしているそうです。

また、櫻庭さんは20歳のときに昭和三陸大津波を体験しており、「大津波をまた見ることになるとは思わなかった」と震災の被害に心を痛めていました。



子や孫、ひ孫らに囲まれて幸せそうな櫻庭さん(中央)

## 21 渡邊正敏さん 厚生労働大臣特別表彰受賞 年間民生児童福祉に尽力

先日、厚生労働大臣特別表彰の表彰式が行われ、根井の渡邊正敏さん(70)が厚生労働大臣特別表彰を受賞しました。

渡邊さんは民生委員を21年間勤め、平成10年からは民生児童委員協議会副会長を、平成14年からは同会長として、民生児童福祉に永く尽力されました。



民生委員・児童委員表彰をうけた渡邊さん

## 上野副知事に要望 復旧・復興に向けた要望書提出

村では東日本大震災における被害からの復旧復興に向けた要望書を取りまとめ、5月31日に来村した上野善晴岩手県副知事に提出しました。

主な要望は以下のとおりです。

- ①海岸防潮堤のかさ上げと工法の見直し
- ②漁業の早期復旧と漁業者への支援
- ③復興計画に係る法的規制緩和
- ④災害に強い道路整備の促進
- ⑤省庁による縦割りの見直しによる手続きの一元化



要望事項について話し合う小田村長(写真左奥)と上野副知事(写真中央)



# 放課後子ども教室 「野田キッズセンター」

元気に  
スタート!

5月19日から野田キッズセンターの活動が始まりました!

初回は、22人の児童が参加して、ペットボトルを使ったけん玉作りに挑戦しました。ペットボトルに自分の好きな色のテープを巻いて、オリジナルのけん玉を作って、上手に玉を入れて遊びました。



うまく入るかな?

5月26日にはボランティアとして二戸市シビックセンターの講師を招いて、万華鏡を作りました。なかなか作る機会のない万華鏡を子ども達は一生懸命先生の話を聞きながら作りました。



なにが見えるかな?

出来上がった万華鏡の幻想的な輝きに子ども達は夢中になって遊んでいました。

現在は、毎週木曜日みの活動となっていますがたくさんの小学生のみなさんの参加をお待ちしています。

## 食育だより

### ぼくもわたしも虫歯がなかったよ!

1日に行われた3歳児健診で、虫歯のなかった子どもたちを紹介しました。虫歯にならないように普段頑張っていることやこれからの決意を聞きました。



中居 瑞稀くん(中平)  
—お母さんから—  
仕上げみがき頑張ろうね♡



中野 透真くん(横町)  
—お母さんから—  
ずっとキレイな歯にします♡



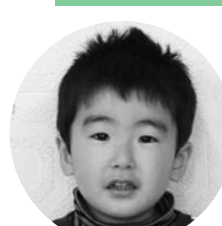
清水川 葵くん(港)  
—お母さんから—  
これからも歯みがき頑張ろうね♡



小野寺 大翔くん(旭町)  
—お母さんから—  
上手に磨けるように頑張ろうね♡



下田 暖貴くん(上泉沢)  
—お母さんから—  
いつまでもキレイな歯にしようね♡



小野寺 涼哉くん(下明内)  
—お母さんから—  
これからも歯磨き頑張ろうね♡

乳歯の虫歯は、食物を噛む力・偏食・発音などに影響します。さらには、永久歯の歯並び・歯質にも影響を与えます。「どうせ大人の歯が生えてくるから」と軽視せず、大切に守ってあげましょう。

## 震災に負けず勝利勝ち取る 久慈市長杯争奪柔道大会で沢里頼くん優勝

5月8日に久慈市体育館で第6回市長杯争奪柔道大会が行われ、南浜の沢里頼くんが個人戦小学生3・4年生の部で優勝を勝ち取りました。

沢里くんが普段練習している直心館は、3月の大津波で流出し、十分に練習ができない状況での優勝に、応援に訪れた家族からは大きな歓声があがりました。

本村の選手の入賞者は以下のとおりです。

- 個人戦 小学生3・4年生の部
  - 1位 沢里頼 3位 岡山岳人
- 個人戦 高校生男子の部 3位 廣崎修輔(久慈東)
- 団体戦 中学校の部 2位 野田中学校



優勝した沢里くん。「大変だったけど、勝ててうれしい!」と優勝を喜びました

# 野田村議会議員選挙

投票日時 8月7日(日) 午前7時～午後6時

- 震災の影響により延期していた野田村議会議員選挙は、8月2日に告示され、8月7日に投票が行われます。選挙する議員の数(定数)は12人です。私たちの生活に直接関わる大切な選挙です。忘れずに投票しましょう。
- 投票できる人
  - 平成3年8月8日までに生まれた人で、平成23年5月1日以前から引続き村内に住所があり、選挙人名簿に登録されている人。平成23年5月2日以降に転入された人、野田村に住所がない人は投票できません。
- 投票所・開票所・時間
  - 投票所：入場券に記載されている投票所(今までと変更になっている投票所がありますので入場券でご確認ください)。
  - 投票時間：午前7時～午後6時
  - 開票所：野田小学校体育館
  - 開票開始時間：午後7時
  - ※開票の参観はできませんが、会場の都合で人数などを制限することがあります。
- 投票所入場券
  - 入場券は8月2日(火)から郵送します。一人一枚のはがきサイズになっていますので、忘れずに投票所に持参してください。
- 投票の方法
  - 投票所では、入場券と選挙人名簿を照合のうえ、本人であることを確認してください。
- 不在者投票
  - 出稼ぎや入院中の人などは、次の方法で不在者投票をすることができます。
  - ① 出稼ぎなどで村外に滞在している人は、滞在先の市区町村の選挙管理委員会で行う。
  - ② 不在者投票ができる施設として指定されている病院などに入院・入所しているときは、その施設で行う。
  - ③ 一定の障害等級の身体障害者手帳や戦傷病者手帳を交付されている人、介護保険の要介護状態区分が要介護5の人が郵便などで行う。
  - ※投票用紙の請求については、①③は村選挙管理委員会へ請求、②については、不在者投票ができる施設かどうかを確認し、病院(施設)長に請求して下さい。
- 問い合わせ
  - 村選挙管理委員会 ☎78・2111
- 期日前投票
  - 投票日当日に仕事などで投票所に行けない人は、次のとおり期日前投票ができます。
  - 日時：8月3日(水)～6日(土) 午前8時30分～午後8時
  - 場所：役場1階 選挙管理委員会事務室
- 期日前投票
  - たあと、投票用紙を交付します。投票したい候補者の氏名を記入し、投票箱に入れてください。



## 戸籍の窓口

5月受け付け分  
(敬称略)

### ★お誕生おめでとう

道上 あいか(浩司・志保子)下明内

### ■ご冥福を祈ります

澤里 昭一(83) 中新山  
下向 武雄(86) 下明内  
新山 正雄(84) 中新山  
高橋 隆男(82) 玉鉦  
坂本 千エ(79) 門前小路

### 人の動き

男 2,292人 (-10)  
女 2,406人 (-13)  
計 4,698人 (-23)

世帯数 1,647世帯 (-1)

○村内の交通事故 人身事故 0件  
物損事故 5件  
○救急車出動件数 13件  
(うち村外 4件)  
○飲酒運転検挙者数 0人  
(平成19年8月からの累計2人)

交通死亡事故ゼロ継続中  
1015日(5月末現在)

### 駐在所より

#### ●台風期における災害防止対策

①ラジオ、テレビなどの気象情報を良く聞く ②停電に備え、懐中電灯などを用意する ③風で倒れたり、飛ばされないよう物を固定する ④非常持出品を準備する(3日分位の食料品など) ⑤台風接近時は、外出を控える ⑥家族全員で、避難場所・避難経路を確認する ⑦避難途中、はぐれてしまった場合の連絡方法や集合場所を決める ⑧避難する際は、ヘルメットなどを着用する ⑨浸水のおそれがあるところでは、病人や乳幼児などを安全な場所へ

台風シーズンに備え、万全の態勢を整えましょう。

■問い合わせ  
久慈警察署野田駐在所 ☎78-2161

### ほっとひといき

▼今がどん底なら、あとは上がるだけ▼  
瀬戸内寂聴さんの法話で印象に残った言葉▼明治や昭和の天津波▼野田村は一度もあきらめなかった▼きっと先人たちが同じように考えていたのだから

## のだスナップ集



みんなでハンドマッサージの練習!  
(5/19 たんぼぼの会)



変身・全身・ジャンケンポン!  
(5/21 野田小学校運動会)



ひゃー、泥がきもちわるいよう  
(5/25 田んぼ体験事業)



ねえねえ見てみて~  
(5/26 キッズセンター 万華鏡作成)



役場の石碑も元どおり!  
(5/29 元気な野田村出発式)



みんなの願い! 三鉄復旧!  
(5/29 元気な野田村出発式)



虫歯なんてないよう~  
(6/1 三歳児検診)

## 無料労働相談会

■日時 7月10日(日)  
■場所 久慈地区合同庁舎  
■相談内容 労使間の労働問題全般(解雇、雇止め、減給、配転、パワハラ、セクハラ、給与手当てなど不当要求、労使紛争など)  
■問い合わせ 岩手県労働委員会事務局 ☎019-629-6276

## 岩手県医療局採用試験

■職種 薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、臨床工学技士、管理栄養士、助産師、看護師  
■申込期間 6月28日(火)まで  
■試験日 7月10日(日)  
■会場 盛岡・青森・仙台・東京  
■受験資格 ①各職種の免許②36歳未満(昭和50年4月2日以降に生まれた人)  
■問い合わせ 岩手県医療局 ☎019-629-6322

## 土地取引にご注意

村では地震及び津波により甚大な被害が発生したことから、新たな復興計画を現在策定しています。今後、復興計画を円滑に進めるためには、土地の高値を見込んだ買い占めなど不当な土地取引を防止し、適正な地価水準を保つことが必要です。土地取引についてお悩みの方や不当な土地取引情報をお持ちの方は、ご連絡ください。  
■問い合わせ 総務課 ☎78-2111(内線116)

## 「学校へ行こう週間」のお知らせ

久慈拓陽支援学校は、地域に根ざし開かれた学校づくりの一環として、日頃の授業などを広く周知するため、「学校へ行こう週間」を設けています。お気軽にご来校ください。  
■期間 7月11日(月)~15日(金) 9:00~15:00  
※「夏まつり」は22日(金) 15:10~17:00  
■内容 校舎・寄宿舎見学、授業参観  
■その他 説明と案内が必要な人は事前に電話が必要  
■問い合わせ 久慈拓陽支援学校 ☎58-3004

## 医療機関で窓口負担の免除を受ける場合 免除証明書が必要になります

東日本大震災で被災した人の医療機関の窓口で支払う一部負担金について、7月1日(金)から免除証明書の提示が必要となります。  
■国民健康保険、後期高齢者医療に加入している人 村に申請し、免除証明書の交付を受けてください。  
※住家が全半壊した場合、申請の必要はありません。  
■協会けんぽ、船員保険、健康保険組合、共済組合に加入している人 それぞれの保険者に申請し、免除証明書の交付を受けてください。  
■問い合わせ 住民福祉課 ☎78-2111(内線141)

## 能力開発研修

月日	研修内容	申込期限
7/13~14	第二種電気工事士技能試験受験準備講習	6/29
7/20~21	Excel2007初級	7/6
7/26~27	Excel2007中級	7/12
7/27~28	ISO14001内部監査員養成セミナー(※)	7/13
8/2~3	Excel2007ビジネス活用	7/19

■講習時間 9:00~16:00 (※8:45~16:45)  
■問い合わせ 久慈職業能力開発センター ☎53-6261

## なかよし広場を開催します!

就学前の乳幼児とその保護者を対象に、遊びをとおして育児のノウハウを身につけたり情報交換できる場を提供します。  
■日時 毎週水曜日 9時30分から  
■場所 野田村保育所(旧新山保育所)  
■問い合わせ 野田村保育所 ☎78-2164

## 裁判所職員採用試験

■職種 裁判所の一般事務を行う裁判所事務官  
■申込期間 7月12日(火)~21日(木)  
■試験日 9月11日(日)  
■会場 盛岡市、仙台市、福島市、山形市、秋田市、青森市  
■受験資格 平成2年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた人  
■問い合わせ 盛岡地方裁判所事務局総務課人事第一係 ☎019-622-3352

## 被災したアルバムや写真を保管しています

生涯学習センターで流出した写真やアルバムなどの保管をしています。心当たりのある方はご確認のうえ、お引き取りください。  
■時間 9:30~15:30  
■場所 生涯学習センター  
■問い合わせ 災害対策本部 ☎78-2111、災害ボランティアセンター ☎090-2279-4053、☎080-5949-8093



あなたの写真が見つかるかも!?

## 国民年金保険料の免除について

今回の震災で、住宅・家財・その他の財産について、おおむね2分の1以上の損害を受けられた人は、ご本人からの申請に基づき、国民年金保険料が全額免除になります。免除の手続きは、平成23年7月末までに、住民福祉課にある「被災状況届」を添えて申請してください。免除期間は、平成23年2月分から平成23年6月分までで、平成23年7月分以降については、改めて免除の申請が必要となります。なお、平成22年7月分から平成23年1月分までの免除については、本人・配偶者・世帯主の前年所得などにより審査されます。こちらも平成23年7月末が提出期限です。  
■問い合わせ 二戸年金事務所 ☎0195-23-4111、住民福祉課 ☎78-2111(内線141)

## デフォルメ 似顔絵

●大きさB5判1点につき ●モノ13,000円 ●カラー22,000円(尚、他に利用する場合は別途使用料がかかります) ●ご相談に応じます ●似顔絵コンクール「美空ひばり」を描いて最高賞の特選受賞  
イラストレーター デザイナー 桜庭昇 のだ中新山 ☎78-4096

## わさらび施術院

移転いたしました!!  
出張施術もいたします。  
肩こり・腰痛でお悩みの方は電話予約を!!  
080-5220-5368 北田 幸二  
野田村前田小路15-19-8 りんご団地(駐車場有り)

## 立ち上がろう野田!!

頑張ってますよね。セキモト美容院も頑張ってます。お越しをお待ちしてます。

Beauty Salon セキモト  
九戸郡野田村大字野田28-12-7 TEL 0194-78-2475

## 今年のサマージャンボ宝くじは億万長者が52人!

サマージャンボ宝くじの賞金は、1等・前後賞合わせて3億円。2等も1億円。さらに、2000万サマーも同時発売!  
発売期間は、7月11日(月)から29日(金)までです。この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。  
■問い合わせ 総務課 ☎78-2111



村に元気と  
笑顔  
を取り戻せ!

野田小学校

# 運動会

野田小学校（高橋啓司校長、児童198人）の運動会は5月21日に、「勇気・団結・笑顔 くみんなの心をひとつに」を大会スローガンに掲げて開催されました。

児童たちは紅白に分かれて徒競争や綱引き、玉入れ、応援合戦などを元気に取り組みました。

会場にはたくさんの家族や観客が訪れ、拍手や歓声が響き渡りました。



絶対に負けないゾ!



野田小を支援して下さった皆さんに感謝のメッセージ!



1、2年生による「パワー全開! ドラゴンキッズ2011」



声がかかるまで頑張った紅白応援合戦



みんなの力がひとつになった綱引き

皆さまの応援  
ありがとうございます!

■ ボランティア

累計人数：7,747人  
(団体：6,680人、  
個人：1,067人)

■ 炊き出しボランティア

総回数：59回

■ 支援物資

総計：730件  
(災害救助法に基づく県の物資を除く)

■ 災害義援金

総額：7,161万円 (655件)

## 一歩ずつ 前に



大津波で深刻な被害を受け、がれきが散らばったままの野田漁港では、漁師たちが秋のサケ漁に向けて浮きの準備に取り掛かっていました。

港湾施設や漁網などに大きな被害が出たにも関わらず、漁師たちは秋の豊漁を願い、力強くロープを締め上げていました。